

4 番 高 橋

一般質問通告書、受付番号第2号、質問議員4番、高橋純子。

件名、「フィルムコミッションでまちに活気と勢いを」。

フィルムコミッションとは、地域活性化や文化・観光の振興を図ることを目的に、映画やテレビドラマ、CMなどのロケーションを誘致したり、その撮影がスムーズに進行できるようサポートしたりする機関で、主に自治体を中心となって行われている。撮影場所が観光スポットになることで、町の知名度や地域愛着度を向上させ、観光客の増加にもつながるなど、地域活性化の一環として経済的効果が期待できる。

当町のフィルムコミッションにおいて、窓口や支援内容などはホームページで検索できるが、さらなる魅力の配信や観光の増進につながる支援、関係機関との協力体制を打ち出すことが肝要であり、既存の地域資源や人材資源を活用し、町の魅力を広く伝えるチャンスがあると考え、以下の質問をする。

1. フィルムコミッションの現状はどのようになっているのか。

2. フィルムコミッションのさらなる推進について、今後どのように取り組んでいくのか。

以上でございます。

議

長

答弁願います。

町長。

町

長

それでは高橋純子議員から「フィルムコミッションでまちに活気と勢いを」についての御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「フィルムコミッションの現状はどのようになっているのか」についてであります。フィルムコミッションとは、映画やテレビドラマ、CMなどあらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際の撮影がスムーズに行われるよう、ロケ地と撮影者との調整役となる団体のことで、その多くは自治体や観光、経済に携わっている非営利団体などで組織され、地域の魅力発信や経済、観光・文化振興等に大きな効果を上げております。

フィルムコミッション活動の全国的な協議会組織であるNPO法人ジャパン・フィルムコミッションによると、フィルムコミッションは、「非営利公的機関であること」「撮影のためのワンストップサービスを提供しているこ

と」「作品内容は問わないこと」の三つが要件とされております。県内ではこのNPO法人に参画している自治体はございませんが、撮影支援やロケーションサポートという形で自治体や観光協会等が運営している17団体の支援組織が活動しております。

現在、町内におけるロケーション撮影に関する相談は商工観光課が担っており、相談を受ける際は企画内容や希望する撮影場所を聞き、撮影可能な内容であるか、町のイメージを損なうものでないか、撮影可能な場所であるか等を確認しております。

また、相談の中で、町が所有・管理している場所以外での撮影を希望された場合には、撮影者側で交渉や調整を行っていただいております。このほかに、町を介さず撮影者が直接、施設の管理者に交渉や調整を行った上で撮影を行われている場合もあります。

撮影内容によっては、町が直接関わらない場合や協力できない場合もあり、フィルムコミッションとしての要件を満たさないことから、正式にはフィルムコミッションの名称は使用していません。

次に、2点目の御質問の「フィルムコミッションのさらなる推進について、今後どのように取り組んでいくのか」についてであります。フィルムコミッション活動を行うに際しては、担当する職員が町内の撮影場所や位置関係、周辺の状況等を把握するとともに、各種許認可手続に関する調整等を含め、幅広い知識が必要となるため、専門的な人材の確保が不可欠で、そのための人材育成が重要になると言われております。

町への相談件数は、多い月では10件程度ありますが、天候や他のロケ地での撮影が長引いたり、急遽、他の撮影場所が選ばれることもあり、1人の担当者だけで全ての撮影協力対応を行うことは難しい状況で、職員も他の業務を兼任しての対応をすることになるため、手厚い支援には至っておりません。また、現在、町が行っている撮影協力の内容は、町が所有・管理している場所のほか、一部の県管理施設等の紹介に限られ、撮影者が求める内容の一部にしかサポートできていないのではと考えております。

今後、町がさらに撮影協力できることや、できる場所を増やしていくためには、近隣自治体が行っている取組のように、個人や法人を対象とした撮影

可能な場所や、エキストラの登録制度の創設等が考えられますので、検討したいと考えております。

一般的に、映画やテレビドラマ等の撮影が行われると、撮影地となった自治体に多くのスタッフが地域を訪れるため、宿泊先や飲食の提供という直接的な効果や、そこで撮影された映画やドラマがヒットした場合は多くのファンが訪れる、撮影された場所を知ってもらえるという間接的な効果などがあり、経済面や観光面において、よりよい効果をもたらすことが期待できます。

一方で、近年、SNS等の普及に伴う観光客の急増により、地元住民が日常生活に支障を受ける「オーバーツーリズム」も危惧されているため、そのような点も考慮し、今後の推進策の検討を行っていきたいと考えております。

議 長 高橋純子議員。

4 番 高 橋 答弁をいただいて、私がこの件名にしたのは、1番2番とありますけれども、夢のある話がしたいなど、そのように思っています。やはりこの山北町に私も移住をというかしまして、26、7年になりますけれども、やはりお友達も増えて、そして移住の方と交流ができて、そういうところでやはり話が持ち上がった一つでもありますので、本当に最初から申し上げているとおり、夢がある山北町の魅力アップにつながるようなお話がしたいと思っております。

そこで1番のフィルムコミッションの現状についてはどのようになっているかということなんですけれども、やはりこの御回答にありますように、振興に大きな影響を与えていくのではないかなというようにお話もありますので、再質問というところでは、まずは近状の件数、そして状況を、そして対応の内容、まずここからお話を頂戴したいと思います。

議 長 商工観光課長。

商 工 観 光 課 長 お答えになるかどうか、何とも言えないですが、フィルムコミッションのときの撮影協力の関係については、商工観光課のほうにまずは電話問合せ、もしくはメールなどの問合せを受けております。そこで、やはり内容的なもの、それと監督さんが求める内容などが分からない部分がありますので、企画書なども提出してもらい、実際にイメージがあるところがどこがあるか、そこら辺を御紹介するなどはさせていただいております。

さらに、その中でも、やはり動ける場所、動けない場所、例えばよくあるのは山の山頂に行きたいです。滝を撮影したいですなどもあります。ただ、撮影クルーが多くなり過ぎてしまいますと、そこまで行けないなどもございますので、そこら辺など御相談なども受け付けながら適切な場所を探しながらやらせていただいているところがあります。今のところはそのような形を取らせていただいております。

議 長 高橋純子議員。

4 番 高 橋 様々な問合せがあるかと思えますけれども、実際、今年、昨年度1年ではどのような対応をされておられたのが一番多いのかなというふうには、ちょっとお聞きしたいと存じますが。

議 長 商工観光課長。

商 工 観 光 課 長 先ほど述べましたが、相談のほうは随時受けさせていただいております。ただ、撮影のクルーの方々も複数の箇所を望んでいるわけです。当然、山北町が選ばれるときもあります、当然違ったところもありますので、そこら辺はどうしてもこちらをいったときには御相談乗らせてもらっているというのがちょっと実態でございます。

議 長 高橋純子議員。

4 番 高 橋 御回答にもありますように、観光課、商工観光課が担っているということですが、お仕事などで支障などない範囲で行ってられるのかなと思いますが、職員の方、何人ぐらい対応されて、そういうところにしてられるんでしょうか。

議 長 商工観光課長。

商 工 観 光 課 長 事務分掌上で担当を担わせているのが1名。それと副の担当という形で1名、延べ2名体制であります。ただ、そうはいつでも、やはり担当の者も不慣れな場合もございますので、課の職員が全体的にあの場所、この場所などを意見を出し合いながら御相談受けている状態でございます。

議 長 高橋純子議員。

4 番 高 橋 今までの現状というところでお話を頂戴しましたが、近隣の現状としては、知るところによりますと、平成16年5月設立。そして平成22年3月ではフィルムコミッションあしがらというのが立ち上がっていて、それが終わるとい

うことになりましたが、やはりそういうところで、何か町では影響があったのか、それとも、もう少し力入れなければならなかったのかな、そういうところは生まれませんでしたでしょうか。

議 長 商工観光課長。

商工観光課長 申し訳ございません、何分ちょっと古い内容でございます、記録などは残っておりません。しかし、当時は足柄地域として受けようという趣旨のものがあったはずです。しかしそこを担うに当たっても中心的な組織であったり、受ける場所、問合せ先ですかね。そこら辺などがちょっと不明瞭だったりするとなかなか、うまくまとまらなかったのではなかろうかと、ちょっとそういったものはイメージとしては持っております。

議 長 高橋純子議員。

4 番 高 橋 フィルムコミッションというのはすぐに、それがあからこそ、あるから町が活気がついて、そして前に進める状況というふうには私も捉えておりませんので、やはり経済効果というところもありましたが、現状として考えられるのが、撮影のクルーの宿泊とか、仕出し弁当などの需要とか、そしてドラマなどの効果とか、そのような経済効果などのデータなどございますでしょうか。

議 長 商工観光課長。

商工観光課長 申し訳ございません。そのようなデータなどはございません。

議 長 高橋純子議員。

4 番 高 橋 やはりデータがないといいますと、これから活気をというところも考えていく中では、その内容がなかったのか、それとももうそういうのは取らなくても大丈夫だったというふうにお考えだったのか、現状ということで最後にちょっとお聞きしたいとございますが。

議 長 商工観光課長。

商工観光課長 今おっしゃられた内容ですと、やはり一番長期のロケというのをイメージしているように思われます。ただ最近、御相談を受けるのは長期のロケはほぼありません。ほぼほぼスポット的なCM撮影。しかも山の山頂から富士山を撮影したい。滝を流れる水の風景を撮りたい。そういったものなので、それこそ、皆様がイメージされているような、議員さんがイメージされてい

るようなロケクルー的な形のものなかなか御相談がない状態です。

過去に、CM撮影で100人規模のものを撮りたいですという形がありましたが、そこについてはもう本当にバスが4台、ロケ隊のほうで、車が、10台程度という形のもの、大規模なものでしたが、そちらは別の場所を選定されております。ですので、最近のものは、いわゆるハンディー的なカメラで撮影を回るといのが、どうやらスタンダードのような形で、あまり大きなものは御相談ない状態です。

議 長 高橋純子議員。

4 番 高 橋 傾向というのもいろいろ様々ですし、やはりクルーの状況、人材不足などもありますでしょうし、そしてその撮り方や、クルーなどのイメージする、そういう方々の受入れというのは非常に分かったところでございます。

今のお話を聞きますと、やはり観光スポットだけではなくて、何らかの観光的要素があると思えないような、そういうところが町並みや風景、夕暮れの公園などが生かされているのかなと。何げないものに誇りと財産を感じられるまちということが非常にクローズアップされているのかなと思います。この点、町長、現状踏まえまして、このまちの魅力、そういうところはこの現状でフィルムコミッションに近づけるには、活気を持っていただけるにはどのような点があるといいなというふうに思っておられますでしょうか。

議 長 町長。

町 長 山北町の魅力については、やはり一番は自然というのを皆さん、言われますね。ユーシンブルーであるとかそういったような、いくら経済が発展している都市であっても、ああいったものをつくることができない。当然、ユーシンのような、ユーシン溪谷をつくるには1000年、2000年というような膨大な時間がかかるということで、そういったところがあるということですから、山北町はそういったようなものも持ってる。ですからそれらを発信していく方法を、やはり当然フィルムコミッションさんも含めて検討していかなければいけないというふうには思っておりますけど。ただ、現状どういうふうにつけるかというふうにと考えると、私、今、県の町村会長をやらせていただいているんで、その宛て職としてTVKの取締役というような充て職をいただいております。その中で決算のほうを見ますと、やはりなかなかそういった

ようなテレビにかける費用を増加させていくことができないということは、スポンサーが見つからない。ですから、なかなかそのところが非常に難しいところだというふうに考えております。

そういったようなものが、例えば、NetflixやYouTubeや、様々なAbemaや、様々な媒体がどんどんどんどん大きくなっていく中で、テレビという、あるいはドラマというようなものが非常にこれから変化していくのではないかなど。要するに自主、テレビ局が自分で企画して撮影するというのは非常に少なく、ほとんど今は外注ですよ。売り込みとか何かというようなことで持ってきたものを考え、何かして放送するというのが、もう今当たり前になっておりますから、そういう中でフィルムコミッションというのはあくまでも、我々が協力するという状態の中でやっていますから、それについては今までどおり、協力できるところは協力していきたいというふうに思っておりますけど、一方では、自主的に町が予算をつけても、やはりPRしていく。そういったようなことは私は非常に大事ではないかなというふうに思っています。

ついこの間、川崎市のところで視察をさせていただいた中では、ライブをやっている企業がありまして、そこなんかは非常にいいんじゃないかな、センス。いろんな実績もだんだんだんだん出してくというようなことで、今までですと、録画したものを流すというようなスタイルでしたけど、もう一方ではライブでそのままを、今現在を流すという手法も、非常にこれから伸びるんじゃないかなと思っておりますので、そういったことをもし可能とするとなると、お手伝いだけではなくて、自主的に、町が積極的に関わっていかないとそういったことができないだろうと思っておりますので、そういった面も含めまして山北町のアピールをしていきたいというふうに考えております。

議長 高橋純子議員。

4番 高橋 前向きな御答弁をいただきました。やはり町長のお考えどおり、やはりこれは進めていくというところには非常にハードルはあったとしても、やはり町として、考えていく一つの切り札でもあると。そして魅力を配信していくのも、やはりみんな一丸となってやらなければいけないよというような御答弁を頂戴しました。

ですので、その2番になりますけれども、これからどのように取り組んでいくかというところでは、御答弁の中にもありましたが、やはり多い月では10件ということにはありますけれども、このクルーの人たちというのも、小規模だったとしても、このホームページなどを拝見してくるということではなさそうなんです。なのでやはりSNS、そして地域連携、そういったものを今後、町としてはどのようにお考えになっていかれるのかな。少しでも進展のあるお話が頂戴できたらなと思っておりますが、いかがでしょうか。

議 長

町長。

町

長

今現在、SNSも含めて、様々なものを山北町も、今度はLINEを入れようというふうになっております。ただ、いろいろなものを入れてはきてるんですけど、相互通信をできないというところですので、なかなかそこところ、どこまでやるかという費用の問題もありますし、そういったような中で、皆さんとどういようなSNSを通じて、情報を伝えたり、一方的にただ出すだけということ、応答できないようになっておりますけども、そういったようなことをどこまでどういふうにするかというのは、これから非常に大きな課題だろうというふうに思っておりますので、そういったことを含めて研究していきたいというふうに思っております。

議

長

高橋純子議員。

4 番 高

橋

やはり町長も取材が来られて、この前のユーチューブも拝見をさせていただきました。やはり町の魅力を伝えていくというのは一方通行ではなくて、やはり相互関係がどのように取れるのかなという工夫も必要だというふうなお話だと思います。

ですので、やはりホームページ、されどホームページというところもございますので、ロケ地などのちょっとした情報を増やすとか、そして撮影場所の提案とか、使用しやすさのアピールなどは、今後ホームページの充実はどのようにお考えなのか、そこら辺をお聞きしたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

議

長

商工観光課長。

商 工 観 光 課 長

現在、撮影協力のホームページの内容ですが、一応ポイントを絞って代表的な外観のやつを建物関係が大体主体になっております。撮影の内容によっ

ては全然、全く違うようなイメージを持たれるところもありますんで、そこに関してはちょっと、考え方をちょっとがらりと変えられるところは変えてみたい。例えば、舗装をされていない道路であったり、林の中であったりとか、比較的どこでも撮れる可能性があるところも含めて、ちょっとお示しをしてみたいなど、そのような考えを持っております。

議 長 高橋純子議員。

4 番 高 橋 前向きな御意見で、頂戴したと思っております。

やはり具体的にはホームページでも、やはり情報の積み重ねというものが、必要になってくるなというお話だったと思います。なので何げない風景やそういったところでもクルーの方たち、小さい撮影班の人でも、やはり魅力を感じて来てくださるということですので。今申し上げた、積み上げていくのはとても難しいことかもしれませんが、情報の積み重ねを一つ一つやりながら、そして、それで見えてくるものというものは経済効果とか社会効果大きいと思います。そういったものを狙って行っていただきたいなと思います。

そしてこれ連携には、やはりほかの町、市などの連携も必要になってくるかなと思いますが、今現在そのような感じもありますか、それとも今後、またそういう連携をこことやっていきたいな、そういうようなお考えは町長、お持ちでいられますでしょうか。

議 長 町長。

町 長 特に、他のところと協力してというのは、もちろん、この足柄地域のは別の組織がありますから、足柄観光とかそういったところでは発信しておりますけども、特定のところと直接やり取りということは、今のところやっておりませんが、非常にふるさと納税等について、当然そういうようなことが起こるだろうというふうに思っておりますんで、そういったことを含めながら、やはり何をもって発信したら、例えばインスタでやったほうがいいのか、ツイッターがいいのか、LINEがいいのか、そういったようなものとか、あるいは、またふるさと納税であれば、何ていう、さとふるであるとか、ふるさとチョイスであるとか、そういったような幾つかのところがございます。そういう中で、山北町の魅力というんですか、そういったものは皆さんの視

点で捉えていただいて、それを発信していただく、それに対して、山北町は山北町として、どのような考え方で発信したほうがいいのかというのは考えなければいけないと。しかも今はフォロワーの数がほとんど出ちゃうわけですね。100であるとか1,000であるとか1万であるとか。そういったようなことが出る以上、やはり数字については検討しないと、やはり見る人があまり少ないところに町の予算を突っ込むということはできませんので、やはり大勢の方が見ていただけるようなサイトなり、そういったものを重点的にやってかなければいけないというふうに考えております。

議 長 高橋純子議員。

4 番 高 橋 いろいろな手法を用いてアピールするのは、並大抵のものではないと思いますけれども、やはり町の魅力自体は住んでいる方はもちろんですが、移住されている方のお話も十分参考にもなる場所だと思いますので、そしてホームページに関しては、これからやはりいろんな手法を捉えていかれるとお話がありましたので、その点で、いろいろロケ地などの検索サイトなどもありますけれども、そういうところの山北町の窓口からフィルムコミッション、そういうところの登録、無料サイトなどもありますが、そこら辺はお考えのほうはいかがでしょうか。

議 長 商工観光課長。

商 工 観 光 課 長 すみません。登録無料のサイトについて、ちょっとまずは不勉強であって、申し訳ございませんが、それについても確認のほうはさせていただき、特段問題ないようでしたら、逆にそのPRといった形で設定をさせていただければと考えております。

議 長 高橋純子議員。

4 番 高 橋 何回も申し上げるとおり、やっぱり地元の方が一番やはりいいところ、すばらしいところ、ささいな小さな幸せを見つけながらそういう場所を知っているというお話ですので、やはり連携を取っていただけるようであれば、連携を取りながら、そういうところの団体とかも話を進めていっていただけるといいなというふうに思っております。

そして最後に、ロケ地の候補や場所やカテゴリーだとか時間などで絞り込んだりとか、そして目的に合ったロケ地を選ぶことができる工夫など、町長

のその工夫などがありましたら、ちょっとお聞きしたいと思いますが、いかがでしょうか。

議
町

長 町長。

長 今、いずれにしても、皆さんが検索するわけですね。ほとんどの方がスマートフォンで何か気になったこと、あるいは行きたいところ、食べたいもの、いろんなものをスマートフォンで検索します。そうすると、一つの検索に対していっぱい出てくるということですから、私としては、山北町がぼんと出てくる、例えばユーシンプルーというのは1個しかないですね。あれで検索していただくと、山北町がすぼんと出てくる。あるいはD52で、もし検索していただければ、山北町以外も本当に少ないところですね。ですから、そういったようなあくまでも山北町がぼんと出てくるようなそういったワード、そういったものをもう少し精査していかないと、この検索のサイトの中では、同じようにある。例えば大野山とやると幾つ出てくるかね、相当出てくるんですよ。ですから、そういうようなことじゃなくて、やはり検索したらその中に、数個の中にぼんと出てくるようなワードを山北町でも大事にしていかないと、なかなか難しいんだろうなというふうに思ってますんで。そういった意味では、今のこのネット社会の中でどういうふうに山北町をアピールしていくというのは、ただここがいいですよ、あれがいいですよというだけでは、同じようなものがいっぱいあって、どれが山北のものだか分からないというようなことが起きてしまいますんで、私としてはそういったような検索のワードであるとか、そういったものをもう少ししっかりと、町としてもしっかりやっておかないと、検索してもらえないということが起こるんじゃないかというふうに思ってますんで、そういったものを含めながら多方面で研究していきたいというふうに思っております。